

第12回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年11月17日(火) 18:00～20:15

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 委員(敬称略・外部委員につき五十音順)

猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院 感染制御部長
亀田 信介	一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長
神山 潤	東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者
小森 功夫	松戸市立総合医療センター 副院長
角南 勝介	成田赤十字病院 病院長
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会 会長
中村 朗	総合病院国保旭中央病院 院長補佐
西牟田 敏之	公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事
馳 亮太	成田赤十字病院 感染症科部長
宮崎 勝	国際医療福祉大学成田病院 病院長
山本 修一	千葉大学 副学長
石川 秀一郎	千葉県衛生研究所 所長
杉戸 一寿	千葉県保健所長会 会長
山崎 晋一郎	千葉県病院局長

4 関係機関等

山口 淳一	千葉市保健福祉局 次長
舘岡 恭子	千葉市保健福祉局 医療政策課 担当課長
小出 正明	船橋市保健所 理事
戸来 小太郎	柏市保健所 保健予防課 課長
広木 修一	柏市保健所 保健予防課 専門監
松本 尚	千葉県災害医療コーディネーター

吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
センター長

5 県側出席者

加瀬 博夫 健康福祉部長
渡辺 真俊 保健医療担当部長
中村 勝浩 健康福祉部 次長
石出 広 健康福祉部 次長
内田 信 健康福祉部 参事
久保 秀一 健康危機対策監
井上 容子 健康福祉政策課長
横田 裕之 健康福祉政策課 副参事
舘岡 聰 疾病対策課長
田村 圭 医療整備課長

6 議題に係る主な意見等

○ 入院医療体制について

- ・ 病床確保計画におけるフェーズの移行（現在のフェーズ3からフェーズ4への移行）は、地域ごとなど小刻みにするよりは、一気に上げる方が、医療機関にも危機感を共有できてよいのではないか。
- ・ フェーズ3からフェーズ4への移行は、病院内の準備があり、すぐにはできない。移行するのであれば、早めのタイミングとしてほしい。
- ・ 地域によっては、病床を空けていても患者が来ない病院もある。そうした病院にとっては、フェーズを上げると、より空床が増え、通常医療もできず、モチベーションが下がってしまう。そのため、フェーズを上げる際には、広域で患者に対応するための搬送力の強化という点もセットで考えるべきである。
- ・ 例えば高齢者施設でクラスターが発生し、そこの入所者全てを入院させてしまうと、フェーズ4の病床を確保してもすぐに埋まってしまう。フェーズ4ではどういう人を入院対象とするか、きちんと整理しないといけない。
- ・ コロナ患者以外の重症患者への対応も考えなければいけない。入院の適応を変えることで、フェーズ3のままでも何とかなるのではないかと、とも思われる。
- ・ フェーズ4の場合、医療者も感染の可能性が出てくる。そうした点も考慮しておくことが必要。

○ 発熱外来について

- ・ 発熱外来の指定を受けていない医療機関には、指定を受けてもらえるよう、依頼する。数が増えるよう、取組を進めていく。
- ・ 重点医療機関は入院対応でマンパワーをとられているので、発熱外来から除いてもよいのではないか。
- ・ まず、最初の診察は診療所であるということを、県内の医療従事者の間で共有することが大切ではないか。

○ 県民・事業者への協力要請について

- ・ 感染が拡大してから呼び掛けるのか、その前に発信するのか、タイミングをきちんと考える必要がある。
- ・ 手洗い、マスク着用など、基本的なことを繰り返し発信していくことが大切。